

23年度

# パドラーズトピックスー23

## 10月1,2日 気仙沼市南郷地区復興祈願祭



3月30日に南郷地区にボランティアとして初めて入って目に付いたのが大川の悲惨な状態でした。家の残骸や流された車が何十台と折り重なり、両側の土手は瓦礫の山でした。



震災から約7ヶ月、何度となく訪れた大川はカヌーができるまで元の大川に戻ってきました。



2011年10月1日(土) 14:00-20:30

● 甕れ東北！秋田・気仙沼マラソン・ゴールセレモニー  
● ステージイベント(赤岩打ち囃し会・ライブ)  
● 南郷横丁(新栄軒・南郷屋台村はまらいん家)

復興祈願公演  
秋田伝統芸能  
竿燈

● 公演時間 夕刻

● 主催 ● NANGO-BASE ● 共催 ● 秋田パドラーズ

※チケットの売上金は南郷地区の環境整備や復興祈願祭開催費に充てられます。

10月1日(土)、2日(日)にかけて、復興祈願祭を行いました。

1日は秋田から竿燈、西馬音内盆踊り、ファイヤーダンスに

学生復興支援ネットワークの皆さんによる子供たちに楽しんでもらう「イライラ棒やなどのゲームや佐沢さん、～さん方でマッサージのサービス行い、地元の方々の踊りや赤岩打ち囃し会の太鼓演奏などもあり大いに盛り上がりました。中でも石山勝さんが「甕れ東北！」と銘打ち、秋田の皆さんのメッセージをTシャツに寄せ書きしたものをたずさえて、秋田から気仙沼まで250kmマラソンを一人で走り抜いた事です。

気仙沼市長も出迎える中、ゴールした時は地元の皆さんからも拍手が沸きとても感動的でした。



朝6時に秋田市をバスでスタートし、10:00前に南郷に着き、さっそく小野寺警備担当と役割の確認を行い、持ち場に早速着きました。



カヌー班は明日の慰霊カヌーの為の準備と下見を兼ねて大川でのカヌー行いました。とても風が強くスタート地点に戻るのには困難で、強い場合は途中上陸をするなどの対策を確認してきました。カヌーに献花を乗せ、亡くなられた方の冥福を祈りながら行ってきました。

秋田からはきりたんぼを提供してきました。

田口理事の指揮のもと用意した300人分も完売する

ほどの人気で、気仙沼の皆さんにも秋田の味を喜んでもらいました。

地元の軽トラ市の方も参加し、南郷横丁と名前を付けて食の提供を屋台村とも連携して行われ多くの方々が集まり、久々の町の賑わいに触れてうれしそうな顔がいっぱいでした。







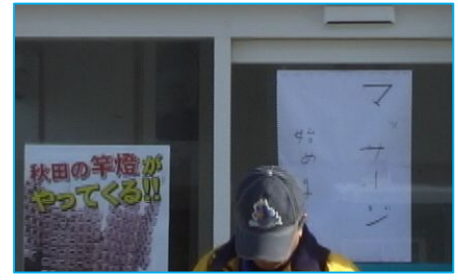
久々のお祭り気分を楽しんでいる気仙沼のみなさんです。

地元のTV局の取材を受ける自治会長の伊東さんです。



秋田学生復興支援ネットワークの皆さんは東電気さんの事務所と駐車場を利用しての射的（水鉄砲でトイレットペーパーを撃つもの。景品は駄菓子、ハピネッツTシャツなどを配り、イライラ棒を制作して、むずかしさ（難易度）レベル別に用意し、景品

も考え、子供たちに喜んでもらえる遊びを一緒になって遊んでいました。また、写真撮影も行い、写真をその場でプレゼントもしていて、最後は鬼ごっこまでやっていました。集まった子供たちは本当に喜んで走り回っていました。



赤岩打ち囃し会の太鼓演奏風景

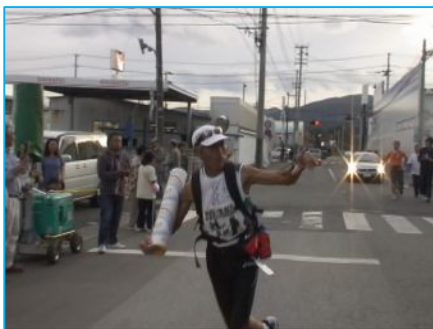
橋本(まーぼー)、ふじ子(ふっちゃん)と佐沢さんとでマッサージのサービスしてもらいました。



地元の「はまらいん屋」さんの踊りの旗の寄せ書きです。



岩手の川崎から慰霊カヌーのお手伝いとして、駆けつけてくれた、NPO法人北上川サポートセンターの金野事務局長さん達も復興にかけた 多くの方の寄せ書を披露しています。



気仙沼市長も出迎えてくれた秋田から250km走り抜いた石山さんがゴールした時の模様です。秋田、大仙、横手各市市長や秋田市立日新小学校の皆さんのメッセージをたずさえ、夕暮れ時の本部会場にゴールした石山さんは、多くの方に思いを伝えることができたようです。



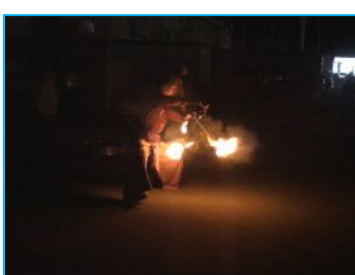


西馬音内盆踊りの皆さんです。鎮魂の意味でもぜひ参加して踊らせてくださいと釜石や秋田、東京から15名の愛好家が参加してくださいました。地元の方も飛び入りで踊りの輪の中に入って一緒に踊る姿はとても優雅で心打つものがありました。



秋田からやってきた「竿燈」。入場してくる竿燈に地元の方から「竿燈ありがとう」「秋田ありがとう」と声が何度となくかけられ、参加した下米町、宅建協会、21

フロンティアの竿燈会の皆さんも「来てよかった、やってよかった」と、また演技していても感動したよとも話していました。思いは一つだなと実感させられました。



最後は、ファイヤードンsteam「えん」、松橋・しい☆と落との踊りで始まり、まる、かっちゃん、卓の男性陣のファイヤードンです。大阪から駆けつけた長崎生まれのシンガーソングの森源太の熱唱で終了しました。警備担当のパドラーズのメンバーです。気仙沼の夜の安全に一役かってくれました。



2日は念願の慰霊カヌーです。亡くなられた方に対してカヌーに献花を乗せ、一分間の黙祷から始めました。地元の方40名ほど参加して行われ、川岸からも多くの市民の方が手を合わせてくださいました。弔いながらも1日

も早い復興を祈願しているようでした。3月29日に南郷に入って最初に大川をきれいにして、復興の一つとしてカヌーができればという思いが実現できたことは多くの皆さんのご協力と思います。ありがとうございました。